



令和2年3月10日
Vol. 185

発行所 加来不動産株式会社
発行所 加来 寛 ・ スタッフ一同
小倉南区守恒本町一十二二十三一〇一
〇九三九六二一五八一
<http://www.kaku-f.co.jp/>

もうやく春めいじかん 木々の芽もふくらみ始めました

休みの日、所用で郊外へ出かけてきました。いつもより少しあたたかく、雲一つない晴天だったのですが、梅の花や木の芽、菜の花など春を感じる風景を目にしました。この時期は、ひと雨ごとに、春が近づいているような気がします。



西村

春の《無料》 相続・相談会開催

● 10組様限定

● 3月10日(火)〜4月11日(土)天赦日まで
※天赦日とは・・・暦上、最上の大吉日

● 事前予約制となります

● お伺いすることも可能です
(市外の場合、交通費別途必要の可能性有)

このように方におススメです

■ 亡くなった親名義 (もしくはそれ以前)の不動産がそのままになっているが、どうすればよいのか？

■ 自分で遺言書を作成したいと思っ
ているが、どこから手を付ければよ
いのだろうか？

■ (兄弟等との) 共有地があるが、こ
のまま問題は無いのだろうか？



■ 賃貸アパート・マンションを子どもに引き継がせたいと思っ
ているが、どんな準備が必要で、どう話を進めて良いか分からない・・・

■ 相続税がかかりそうだが、何の対策もしていないが大丈夫だろうか？

ご相談の流れ③ステップ

① まずはお電話下さい
0120・44・9923

② お電話口で「相続無料相談の件で電話しました」とお伝えください

③ ご相談の日時決め
(来訪かお伺いの確認)

お約束

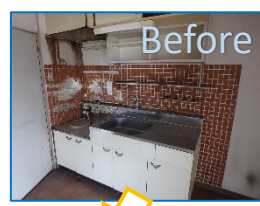
● (当然ですが)ご相談内容は【秘密厳守】です

● かつたよった利益誘導などは一切おこないません

突撃！となりの賃貸管理業務

いよいよ賃貸市場も活況です。

前回のこのコーナーで『「自分が住むなら」という目線で建物や敷地内を見て下さい』ということをお伝えしましたが、左の写真は現在当社で手がけている物件のリノベーションの様子です。



費用をかけキレイにすれば入居が決まりやすくなりますが、近隣の状況を把握しておくことで、改善点により明確になり、的を射た改善につながります。
当社では、近隣物件の視察やリノベーション物件のご案内も承っています。ぜひ、私もしくは柴田にお声がけください。
《資産管理部 西村》

ひとこと不動産業界

“新型コロナウイルスと不動産価格の関係性”

今年度は固定資産税の3年に一度の評価替えの年で、3大都市圏の高度商業地域は大幅な上昇になることがほぼ決まっている。しかし、不動産市況では昨年秋から建売販売の悪化、投資用収益物件の価格低下。その中で新型コロナウイルス発生。株価はリーマンショック以来の下落、と厳しい状況へと追い打ちをかけてきた。早期の終息を願うばかりである。

先月のグッときた本の紹介

西村の



『心を込めて生きる』



著者: 塩沼 亮潤
出版: PHP研究所

毎週録画をしているスポーツ番組があるのですが、その番組は競技内容や試合結果を伝えるのではなく、そのスポーツビジネスや、選手のセカンドキャリアについて、また地方クラブの運営などを回毎に特集します。ある回で、この本著者をゲストに迎えて、「心」や「メンタル」を特集した回がとても興味深く、その著書が社内にあることを社長から聞き読んでみました。

「長続きできるコツ」と「判断と初心」について書かれていた箇所が心に留まりました。また『「心」と「言葉」と「行い」が三つ一緒になって初めて真心や真実が伝わる』という文章に、日ごろの自分を省みることができました。

高名な僧侶の著書ですが、日常生活にも照らし合わせやすく読みやすい本でした。オススメの1冊です♪

ウチ。こんな日々です

毎日わたしたち以上に活躍してくれる大切な社用車。定期的に洗車をしていても、白いクルマはどうしても水アカがついてしまっています。

「だいぶ汚れてしまったな」と気づいたが吉日。少しあたたかい日の早朝にせっせと洗車をしました。このスプレーすごい効きめでドンドン汚れが落ちていきます。



黒い筋がどんどんと取れていき、本来の純白のボディを取りもどしていくのが楽しくて、あつという間にピカピカに仕上がりました。と同時に「もっと早くキレイにしてあげればよかった、ゴメンね。」と申し訳ない気持ちもこみあげてきました。



次はこんなにならないうちにキレイにしてあげようと思います。これからもしっかりと働くクルマを大切にしていきます！

《加来不動産を美しくする委員会
井料隆彦》

石川明人の感動体験

わが家には2人の娘がいます。長女は小学校1年生、次女は幼稚園の年少です。家ではまだまだ甘えん坊さんでかわいらしいのですが、その2人の成長を感じるがありました。

長女は、2月に授業参観がありました。ちょうどわたしもお休みでしたので見に行きました。

わたしが来たのを見つけて満面の笑みを浮かべる長女。「なににきたん？」と言われなくてよかったですと胸をなでおろしながら教室のうしろに立ちました。



授業はクラスで各班にわかれ、それぞれが練習してきたことを発表します。長女は「算数班」ということで足し算を次から次へ答えていました。

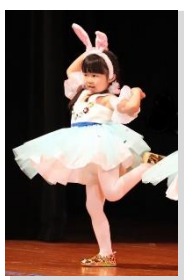
授業の最後はクラス全員で歌を歌いました。みんなが黒板の前に立ち、並ぶ姿に入学当初の光景が脳裏に浮かびました。本当に大きく元気に、そしてみんなと仲良くすごしてきたことに感謝の気持ちがわきウルツとな

次女は生活発表会でした。幼稚園が大ホールを貸し切り、それぞれのクラスがステージ上で合唱や演奏、ダンスを披露します。たくさんさんの保護者の前での披露は、大人でも緊張すると思います。

次女は年少のため、これが初めての体験です。長女の生活発表会のはときは客席からみる立場でしたが、このような大舞台を練習通りにできるか心配でした。

残念なことに、私は自分の資格試験と日時がぶついていたので、試験が終わりがけつけました。次女の発表はかわっておりました。

妻や義母からどんな感じだったか聞くと、本番直前に泣きだしたらしく、先生が励ましなげらステージにあげたそうです。しかし本番はニコニコ笑顔でダンスを踊りきったようです。



新しい環境でガンバってきた2人を頼もしく、これもまわりでお世話していただけた方々のおかげだと思えます。これからも、ふたりの成長が本当に楽しみです。

《石川 明人》